

千葉ポートパーク等活性化事業に関するヒアリング

令和9年10月23日

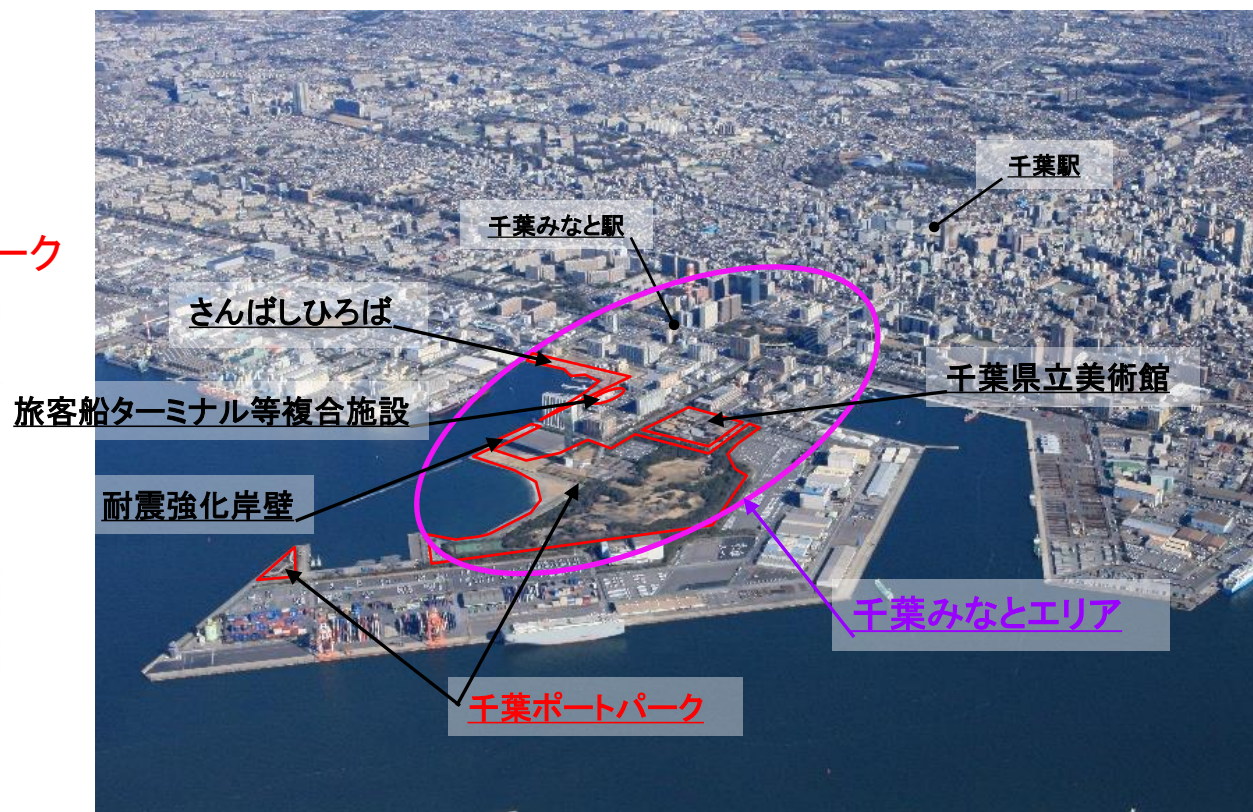
千葉県 県土整備部 港湾課

目次

1. 千葉みなとエリアの概要
2. 千葉ポートパークの概要
3. アクセス
4. 千葉ポートパーク施設概要
5. 千葉ポートパーク周辺施設
6. 建築規制関係
7. 整備イメージ

1. 千葉みなとエリアの概要

- 千葉ポートパークが位置する千葉みなとエリアは、「千葉ポートパーク」や「さんばしひろば」といった港湾緑地や「千葉県立美術館」などの公共施設のほか、旅客船ターミナル等複合施設をはじめとする民間施設が立地し、文化と憩いの空間に恵まれた賑わいの場となっている。
- また、災害時に緊急物資の輸送拠点となる耐震強化岸壁が整備されており、防災機能も有している。
- さらに、平成30年3月には、同地区内の民間施設や港湾緑地が「みなとオアシス千葉みなと」に登録され、「さんばしまつり」や「クリスマスマーケット」など、賑わいを創出する各種イベントが開催されている。



2. 千葉ポートパークの概要

- 千葉ポートパークは、千葉港の中央部の千葉中央地区に位置し、千葉港のシンボリックな緑地として整備された公園である。
- 1年365日24時間開放しており、園内にはコンサート等が可能な野外ステージのある円形広場や水辺で遊べる人工海浜のビーチプラザ、イベントに利用できる遊々広場などがあり、有料施設として、テニスコートも整備されている。
- また、千葉県民500万人突破を記念し昭和61年にオープンした千葉ポートタワーもあり、千葉県民だけでなく、県民全体にとって憩いの場となっている。
- 一方で、千葉ポートパーク内施設の老朽化・陳腐化の進展、千葉県立美術館等の周辺施設との回遊性不足などの課題が顕著となっている。

【公園概要】

- ・オープン: 昭和61年6月
- ・所在地: 千葉市中央区中央港一丁目
- ・緑地面積: 23.2ha
- ・主要施設
 - ①園路及び広場: 円形広場、遊々広場、ウォータープラザ、ビーチプラザ、テニスコート
 - ②修景施設: 展望の丘、シーガル広場
 - ③休養施設: 休憩所、ベンチ
 - ④便益施設: 駐車場(ポートタワー側: 普通車243台、大型車11台、障害者用2台、テニスコート側: 普通車57台)、トイレ(3箇所)



3. アクセス

○公共交通機関(電車・バス)でのアクセス

- ・JR京葉線、千葉都市モノレール
千葉みなと駅 徒歩10分

○車でのアクセス

- ・東京方面から
東関東自動車道:湾岸習志野IC下車 約20分
京葉道路:幕張IC下車 約20分
- ・成田方面から
東関東自動車道:湾岸千葉IC下車 約15分
- ・館山方面から
京葉道路:松ヶ丘IC下車 約15分

○駐車場

- ・無料駐車場あり
- ・夏期(6月~9月):午前9時~午後9時
冬期(10月~5月):午前9時~午後7時
- ・収容台数:約250台



4. 千葉ポートパーク施設概要



①駐車場



・休日は駐車スペースが不足 (R8/4/18)

②トイレ



・施設は古く、老朽化している

③円形広場



・休日は子供連れの利用が多い
・イベント等でも使用

④展望の丘



・施設の老朽化、陳腐化が進展している

4. 千葉ポートパーク施設概要



⑤パテオ(旧レストラン)



- ・(一財)千葉県観光公社が所有
- ・休憩所として利用
- ・エアコンなどの設備が故障

⑥ウォータープラザ



- ・施設の老朽化により未使用
- ・夏期のみ部分的に水を貯めて子供が遊べるようにしている

⑦管理事務所



- ・テニスコートの受付等で使用

⑧テニスコート



- ・ハードコート4面
- ・使用料が安いいため、利用者は多い

4. 千葉ポートパーク施設概要



⑨ビーチプラザ



・潮干狩りやSUPなどで利用されている
(R8/4/18)

⑩ポートタワー



⑪遊遊広場



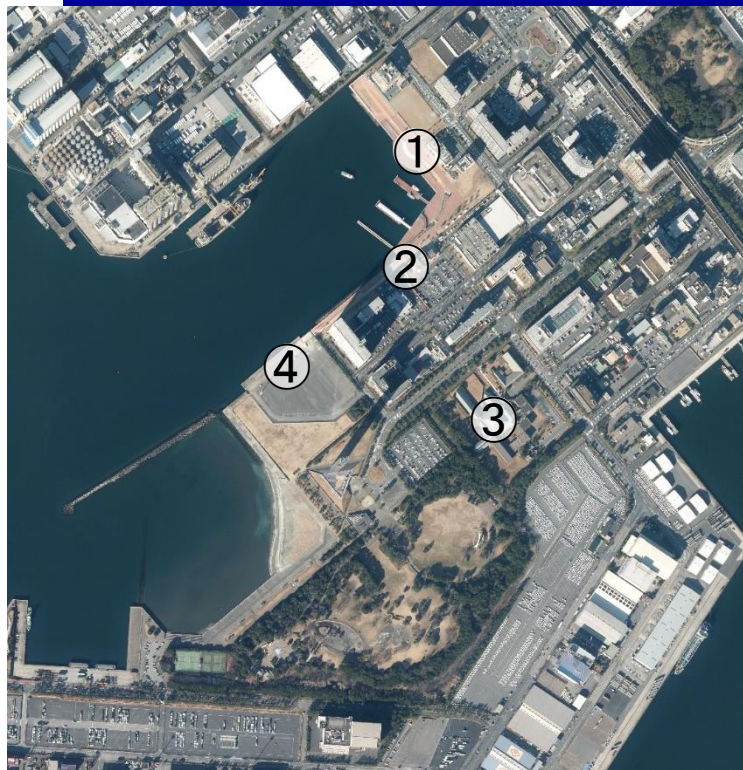
・ドッグラン等のイベントがあれば使用される

⑫広場



・特に使用されていない芝生広場

5. 千葉ポートパーク周辺施設



①さんばしひろば



②旅客船ターミナル等複合施設(民間施設)



③千葉県立美術館



④耐震強化岸壁



6. 建築規制関係



○都市計画法

- ・準工業地域 (建ぺい率: 60% 容積率 200%)
- ・商業地域 (建ぺい率: 80% 容積率 400%)

○港湾法

- ・千葉港臨港地区(商港区)
- ・千葉港臨港地区(無分区)

7. 整備イメージ

1. ポートパークの将来像

平時には住民、勤務者、観光客が憩い、賑わう場として、災害発生時には地域の防災拠点や半島地域向けの海上支援拠点として、フェーズフリーな機能を持たせたい。

2. ポートパークに求める機能

(1) 防災機能

- ・既存の耐震強化岸壁や「防災道の駅」制度を活用し、災害時の物資輸送や避難支援を担う広域的な防災拠点としての機能を持たせる。

(2) 観光・交流機能

- ・千葉ポートパークを活用した体験型アクティビティの展開や、千葉県立美術館との連携による芸術・文化体験の充実を図り、地域の魅力を発信する観光目的地としての機能を高める。

(3) 生活利便・地域活性化機能

- ・地域住民の交流スペースやコワーキングスペースの整備、地元農産品の直売機能の充実により、住民の生活利便性向上と地域コミュニティの活性化を図る。